

分野連携の展望に関するディスカッション

ディスカッションの進め方

各委員会で今後想定している分野連携に関する取り組みや今後の方向性についてディスカッションを行う

- ・ 各委員会からの紹介、委員会間での議論
- ・ 会場とのディスカッション（質問機能の利用）

地震工学委員会における 分野連携活動の方針

地震工学委員会ではVIII分野に移行する際に、WGを設けて今後
分野連携を意識すべき研究について議論を行っている。
ディスカッションの話題提供として、その内容を紹介する。

(1) 耐震設計法

- ・ 実効性のある性能設計体系の高度化と普及のための制度設計
- ・ 地震学の知見を前提としつつも工学的な判断に基づく設計外力の設定
- ・ 「危機耐性」等の考え方に基づく耐震設計体系の構築と実装

(2) 現象の解明と対策

- ・ 液状化現象や耐震性能劣化等についてのマルチフィジックスに基づく分析
- ・ 「危機耐性」を高める耐震構造や装置の開発
- ・ 新材料の活用

(3) 解析基盤技術

- ・ CIMやビッグデータ等を念頭に置いた精緻で大規模な解析技術
- ・ AI等も活用したデータ解析技術
- ・ 深刻な損傷を受けた構造物の非線形挙動の解析技術

(4) マルチハザードの考慮

- ・ 複数災害や劣化などインフラの問題を包括的に取り扱う方法論の構築
- ・ 異種ハザード比較の方法論の確立 (Ex. 地震対策 vs. 洪水対策)

(5) 減災・防災政策

- ・ ライフライン等・社会基盤システムの大被害下での性能評価と対策
- ・ 構造物の観測網の整備 (維持管理・被害報告・常時モニタリング)
- ・ (リスク期待値などに替わる) 適切な性能指標の開発と普及
- ・ 防災計画を考慮した耐震性能の設定方法